

令和5年度事業計画

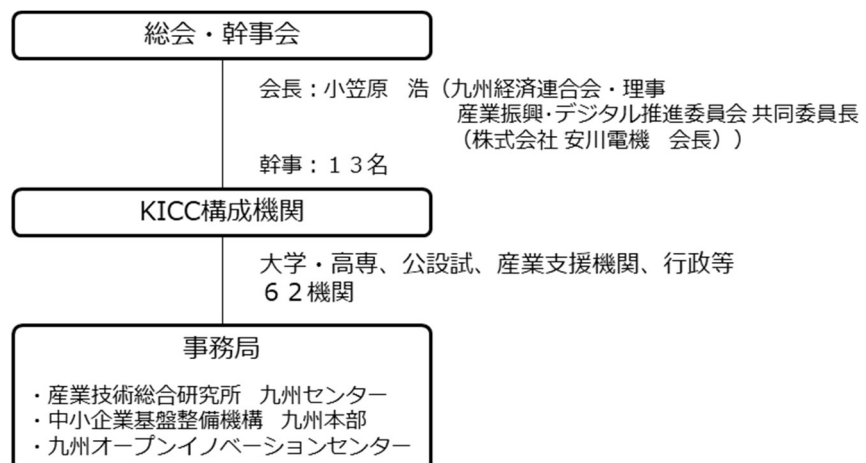
I. 令和5年度の取組み方針

- ・九州イノベーション創出戦略会議（KICC）は、九州域内の大学・高専、公設試、産業支援機関、行政等62機関が参加する広域連携産業支援組織で、平成20年の設立時から一貫して、イノベーションの創出を目的に活動してきました。
- ・現在、社会・個人の価値が多様化し、プロダクトライフサイクルも短くなり、予測の難しい「VUCAの時代」とも呼ばれる中、中小企業も素早い経営判断による新技術・新商品開発に取り組まなければならない、自社の強みと外部の知識・強みを持ち寄って、効率的に新たな価値を共に創造していくオープンイノベーションが、改めて注目を集めています。
- ・3年間続いた新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行され、社会・経済活動は活発化してきた一方で、国際関係の緊張や、原材料・燃料の高騰等、企業の経営環境は厳しさを増しています。
- ・こうした状況下、事業再構築や事業承継を契機とした新分野・事業展開、新商品開発にオープンイノベーションで取り組む頑張る中小企業等を支援するため、今年度のKICCの活動は、これまでの取組みを継承し、引き続きオープンイノベーションを推進し、政府が重点項目とするスタートアップ支援等の観点を盛り込むとともに、昨年度の意見交換を踏まえた改善を加えつつ取り組んで参ります。
- ・また、引き続きKICC事業の活性化に向け、構成機関との意見交換を行って参ります。

【取組の柱】

1. KICC 構成機関とのネットワーク強化
2. 大企業と地場中小企業等とのニーズ・シーズのマッチング事業化支援
3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進
4. KICC 構成機関のコーディネータによるネットワークを活かした事業化支援
5. 広報活動の実施

【 KICC の体制 】



Ⅱ. 個別事業

1. KICC 構成機関とのネットワーク強化

(1) 通常総会の開催

- ・令和5年7月25日、博多サンヒルズホテル（福岡市）において、通常総会を開催し、令和4年度事業報告（案）、令和5年度事業計画（案）等に関し所要の審議を行う。

(2) 特別講演会の開催

- ・通常総会後に特別講演会を開催し、国立研究開発法人産業技術総合研究所から無人決済などの次世代型小売り店舗に関するサプライチェーン構築を目指した研究について、株式会社ケイエスピーからベンチャーエコシステムとオープンイノベーションについてご講演いただく。

(3) 幹事会の開催

- ・KICC 事業の推進と円滑な運営を図るため幹事会を開催する。

(4) ネットワーク活動

- ・構成機関の公募情報や取組みなどの情報発信を行う。
- ・KICC 事業の活性化を目的に、昨年に引き続き、事務局（国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター（産総研九州）、独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部（中小機構九州）、一般財団法人九州オープンイノベーションセンター（KOIC））が工業技術センター、大学・高専、支援機関等を訪問し、KICC 事業の紹介、開放試験研究機器等データベース、コーディネータ等の活用の活性化等に関する意見交換を行う。

(5) KICC 構成機関のコーディネータ間のネットワーク構築

- ・令和4年度の構成機関との意見交換で出された「コーディネータの顔の見える関係づくり」に応えるため、コーディネータ間のネットワーク構築に取り組む。（事業詳細は検討中）

2. 大企業と地場中小企業等とのニーズ・シーズのマッチング事業化支援

(1) 大手企業の技術ニーズ説明会の開催

- ・大手企業と地場中小企業の取引拡大を目指して、大手企業が欲しい技術・製品等を発表し、中小企業が解決法を提案し、商談を進める技術ニーズ説明会を開催する。

(2) KICC 構成機関向けオープンイノベーションセミナー

- ・地域で頑張る研究開発型中小企業、スタートアップ企業がオープンイノベーションで取り組む新市場創出、新事業展開、新製品開発等の事例を紹介し、オープンイノベーションの実践に必要なスキルや組織のあり方等の知識を習得できるようなセミナーを九州経済産業局などと主催・開催する。

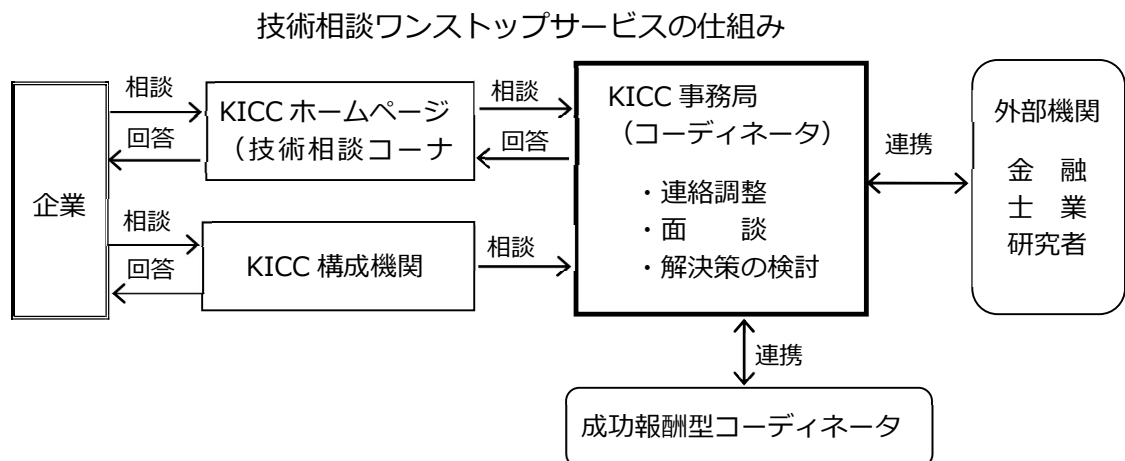
3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進

- ・構成機関のご協力により運用している開放試験研究機器データベース、コーディネータデータベースを引き続き運用していく。
 - ・これらデータベースを最新のデータに追加・更新するとともに、現在登録（機器 28 機関、コーディネータ 31 機関）以外の機関に新規登録の働きかけを行い、データベースの拡大を図る。
- なお、更新にあたっては、令和 4 年度の意見交換で「更新作業にかなりの負担がある」との意見があったことから、負担軽減・効率化の検討を行う。
- ・また、KICC の Web サイトを通じてこれらデータベースの PR と利用促進に努める。

4. KICC 構成機関のコーディネータによるネットワークを活かした事業化支援

(1) 企業等の技術課題の解決に資するワンストップサービスの推進

- ・企業の様々な技術課題に対し、KICC の「技術相談ワンストップサービス」の仕組みを活かした取組みを行う。案件次第では KICC 構成機関のネットワークの活用や金融機関、土業等と連携して、ソリューションを提供する。
- ・また、KICC 構成機関の研究者等とのマッチングが必要な案件については、企業と大学・高専・公設試とのマッチングや産学連携を支援することにより、課題解決を促進する。
- ・KICC 構成機関のコーディネータ、マネージャー等の連携・交流を図るためコーディネータ検索システムのデータを更新し、最新データとする。



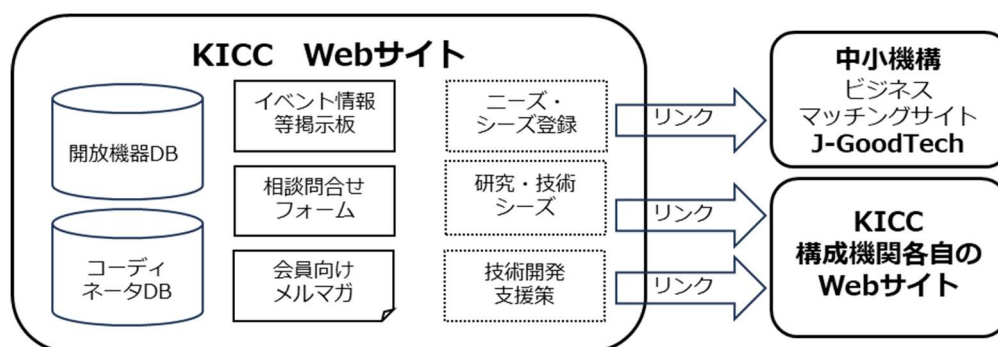
(2) 九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデーへの参加

- ・産総研九州センター及び各県公設試が最先端技術や共同研究成果等の情報を積極的に発信し、各機関の利活用促進と相互連携により地域イノベーションの創出を図る「九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー」（ハイブリッド形式で開催予定）に参加する。

- ・開催日：令和5年10月5日
- ・開催場所：鳥栖市文化会館（鳥栖市宿町 807-17）
- ・主な内容：特別講演、企業と公設試の合同成果発表会、
支援機関等の活動紹介（ポスター展示による情報発信）

5. 広報活動の実施

- ・KICC の Web サイト、各種の機会等を通して、KICC 事業や国等の支援施策等の情報の提供、技術相談ワンストップサービスの紹介、開放試験研究機器や研究者の情報等の広報活動を行い KICC 活動の PR に努める。



Ⅲ. 予算額

- ・KICC 事務局の一つである KOIC は令和5年度予算に250万円を計上し、通常総会・特別講演会をはじめ、Web サイト更新等、KICC の活動に充当する。

件名	支出額(千円)	項目
総会・特別講演会	600	会場費他
Web サイト更新	1,100	維持管理
うち、開放機器等 DB 改修	500	委託
オープンイノベーションセミナー	500	委託
旅費・通信運搬費	300	
合計	2,500	

以上